

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 引野 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

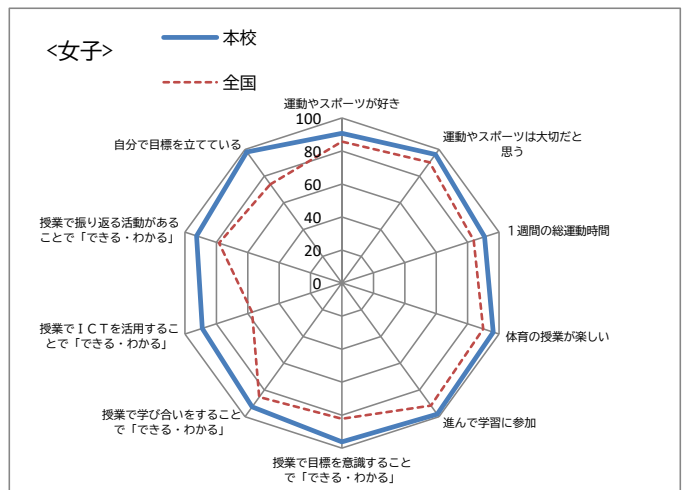
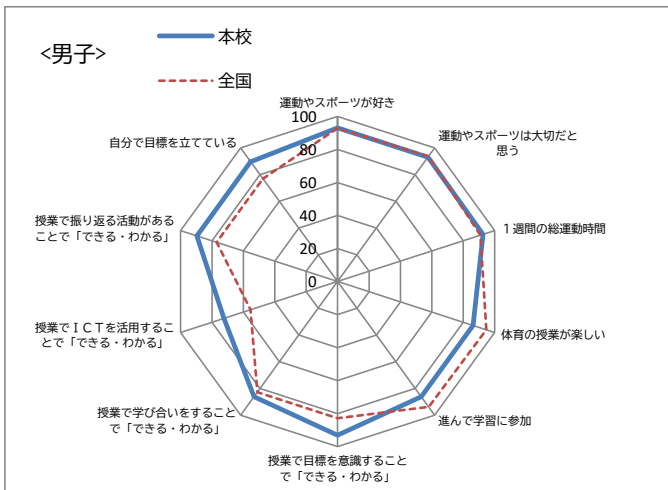
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目	○		○	○	○	○	○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

実技調査の結果及び児童質問紙調査の肯定的な意見では、ほぼ全ての項目で全国平均を上回る結果となった。全体的にスポーツに関する意欲は高く、校内での外遊びや放課後の活動も活発である。また、授業内での目標設定、協働的な学び、ICTを活用した授業展開など児童は肯定的に捉えている。男子の「体育の授業が楽しい」「進んで学習に参加」の項目が全国平均を下回ったことに関して、新たに手だてを検討する。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

実技調査結果を維持・向上させるため、授業前に3分間走やジャンプアップトレーニング、縄跳びなど体力アップ運動を継続して行う。ICT活用の好事例を全体共有し、各学年ICTを効果的に活用できる状況を作り出す。単元末などに主体的に学べる学習を計画するなどし、自己有用感を育てることで参加意識を高める。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体力アップ週間、大縄チャレンジなど、児童が楽しみながら運動に触れ合う学校行事を計画し、協働性の伸長を図るとともに、運動への興味関心を伸ばしていく。体力アップ週間については、体力テスト前後に、校内に調査項目に関わるチャレンジコーナーをつくり、計測前に競技に慣れるよう計画する。